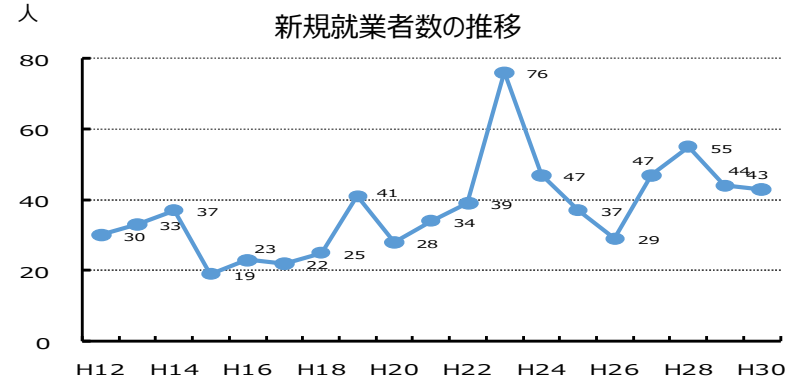
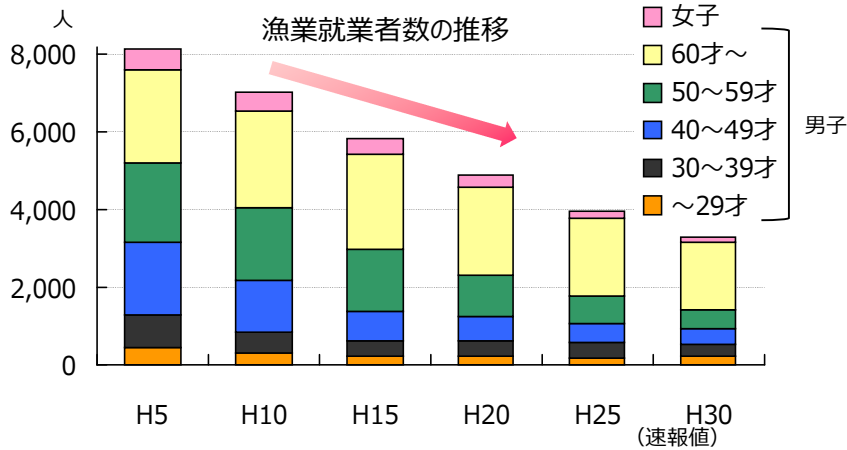


漁業の担い手の育成・確保対策

これまでの取組



・H12年度から長期研修制度を開始し、H30年度までに82人を受入れ、うち69名が漁業に就業

・漁業就業者のさらなる確保に向けて、支援体制や対策を抜本的に強化

(一社) 高知県漁業就業支援センターの設置 (H31.4)

【事務局】 (R元.11月末日)

役職	人数	属性
マネージャー	1名	県派遣
スタッフ	4名	県派遣 (1名) 漁協出向 (1名) プロパー (2名)

【会員】14沿海市町村、6漁業協同組合、県



(一社) 高知県漁業就業支援センターにおける就業支援

PR・相談

体験・マッチング

技術習得

独立支援

定着促進

漁業就業総合支援事業

- ◆漁業就業セミナー (年3回開催)
- ◆専用HP、Facebookの開設 (R元～)
- ◆水産動物専門学校等と連携した就業希望者の掘り起こし R元 : 4校
- ◆フェア相談会への出展 (出展回数) (相談人数)
H29 : 14回 59名
H30 : 11回 46名
R元 : 15回 60名見込
R2 : 14回
- ◆漁村提案 (地域における住居や求人などの具体的な情報の提供) の作成を支援 R元 : 7地域で作成
- ◆就業相談と短期研修への誘導

- ◆短期研修の実施 (実施状況)
H29 : 17回
H30 : 29回
R元 : 49回見込
↓
R2 : 60回



- ◆共通カリキュラムによる座学研修 (年3回開催)
- ◆自営漁業者の育成
・長期研修の実施 (1年間) と自立後の経営安定を支援 (1年間)
・地域の中核的漁業者の育成に向け、遊漁船業、水産加工等の研修も実施
H29 : 6名、H30 : 3名、R元 : 15名見込 → R2 : 17名 (研修開始者数)
- ◆雇用型漁業の新規就業者の雇用を支援 (1年間)
R元 : 5名見込 → R2 : 10名 (開始者数)
- ◆漁業後継者の育成を支援 (1年間)
R元 : 3名見込 → R2 : 7名 (開始者数)
- ◆担い手育成団体が実施する研修を支援 (原則2年間、R2～)
R2:4名 (研修開始者数)

- ◆小型船舶操縦士免許、海上特殊無線技術士免許の取得を支援
- ◆研修修了後、本人の希望等により日単位の再研修を実施 (活用者数) R元 : 1名見込
- ◆新◆研修修了生の円滑な自立に向けて漁船のレンタルをサポート
- ◆漁船アドバイザーによる新規就業者の漁船探しと見極めを支援 R元 : 4名を委嘱
- ◆研修修了生等の漁船取得等を支援
・浜の担い手漁船リース事業 (国事業) R元 : 4名 → R2 : 10名
・水産業成長産業化沿岸地域創出事業 (国事業) R2 : 7名
- ◆早期の経営安定化に向け、漁協に配置した営漁指導員と連携して経営改善等をアドバイス R元～ : 県内5ブロックに1名ずつ配置

→PR強化と就業相談者へのきめ細やかな対応により、R元年度は短期・長期研修生が大幅に増加

課題

●研修修了時点で漁船を取得できていない新規就業者への支援が必要

今後の対応

●漁船所有者もしくは漁船を取得した漁協が、研修修了生へ漁船のレンタルを開始